



最古期の土器“微隆起線文土器”の破片。センベイほどの大きさ。
縄文時代13000年前。御代田町東荒神遺跡出土。

発見された

最古の土器

人類が焼き物の器、すなわち土器を使うようになったのは、一万年以上前のことである。

土器の発明によって、人々の生活は飛躍的に進歩した。食物を盛り付けることが可能になり、食物を煮込んで味のバラエティーが広がった。また、殺菌効果など、器で煮込むことで衛生面も改善された。

土器の発明は、もし今日にあつたら、ノーベル賞以上の発明ともいえる。この偉大な発明は、人類最初の化学変化の応用ともいわれることがある。熱を加え、粘土が固くなるというような化学的性質を、人間が最初にとらえた行為だったといえるのである。

御代田町東荒神遺跡において、最古期の縄文土器が発見されている。ちょうどオセンベイほどの大きさだが、表面にソーメンのような粘土のヒモを貼り付けて飾っているのが特徴だ。その名を「微隆起線文土器」とする。

その古さは1万3千年前、最古の御代田人たちが、器を使ってこの地で、暮らし始めた貴重な証である。この土器は現在、浅間縄文ミュージアムで展示されている。



最古の土器の全体は、おそらくこんなかたちだった。

さかいひろこ縄文漫画展 “空想考古学-土偶ブギ★ウギ”

■3月17日(土)~4月8日(日) ■浅間縄文ミュージアム 企画展示室 入場無料

御代田町の人口(2月1日現在)

●人口 14,209人(先月比-15) 男 7,127人女 7,082人
●世帯数 5,467世帯(先月比-6) ●外国人登録者数 743人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111